

安曇野市告示第 137 号

安曇野市母子・子育て相談事業実施要綱を次のように定める。

平成 29 年 3 月 29 日

安曇野市長 宮澤 宗弘

安曇野市母子・子育て相談事業実施要綱

(趣旨)

第 1 条 この要綱は、子育て世代への支援について、母子保健法(昭和 40 年法律第 141 号)第 22 条に基づき、妊産婦、乳幼児及びその他の家族(以下「妊産婦等」という。)からの相談に応じ、妊娠から子育て期までの切れ目ない支援を行う事業(以下「支援事業」という。)を実施するための相談窓口(以下「相談窓口」という。)の開設に関し、必要な事項を定めるものとする。

(名称及び開設場所)

第 2 条 相談窓口の名称及び開設場所は、次のとおりとする。

- (1) 名称 安曇野市母子・子育て相談窓口
- (2) 場所 安曇野市役所 保健医療部健康推進課

(対象者)

第 3 条 支援事業の対象者は、市内に住所を有する妊産婦等とする。

(支援事業の内容)

第 4 条 相談窓口は、次の支援事業を行う。

- (1) 対象者に係る身体的、精神的及び社会的な実態の把握に関すること。
- (2) 対象者に係る妊娠、出産、育児等の相談及び支援に関すること。
- (3) 支援が必要な対象者に対する支援プランの作成及び評価に関すること。
- (4) 対象者の情報の共有に関すること。
- (5) 妊娠、出産及び子育てに関する庁内関係部署との連携・協議に関すること。
- (6) 前各号に定めるもののほか、対象者が支援を必要とする場合は、サービス等を提供する庁内関係部署又は関係機関へ速やかに情報提供を行うものとする。

(職員の配置)

第 5 条 相談窓口には、母子保健事業に関する専門知識のある保健師を置く。

(庶務)

第 6 条 相談窓口の庶務は、保健医療部健康推進課において処理する。

(その他)

第 7 条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は市長が別に定める。

附 則

この告示は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

平成29年4月3日から開設しました

母子・子育て相談窓口

安曇野市では、妊娠中から出産・子育て期を安心して過ごしていただけるように、出産前後の方を対象に母子・子育て相談窓口を開設します。

妊娠・出産・子育てについての不安や悩みについて一緒に考え、サポートさせていただきます。身体の不調や育児不安など、気になることがあればお気軽にご相談ください。専門のスタッフが対応します。

こどもの予防接種はいつ受けたらいいの？

どこへ相談したらいいのかな？

こどもを預けるところはあるのかな？

子育てのことを聞ける人がいない

こんな不安や悩みありませんか？

育児に疲れてイライラするけど、どうすればいい？

近くに助けてくれる人がいない

初めての妊娠だけど、これからどうなるの？



こんなサポートをします

相談無料

相談にのります

妊娠・出産・子育てに関する心配ごとや様々な悩みにお応えします

情報提供をします

一人ひとりに合った情報を提供します

継続的にサポートします

必要な場合は継続的に相談にのり、関係機関と連携しながらサポートしていきます

安曇野市

母子・子育て相談窓口

受付：平日 8:30~17:15
(土・日・祭日・年末年始は除く)

TEL：0263-71-2470
0263-71-2471

FAX：0263-71-2328

安曇野市役所

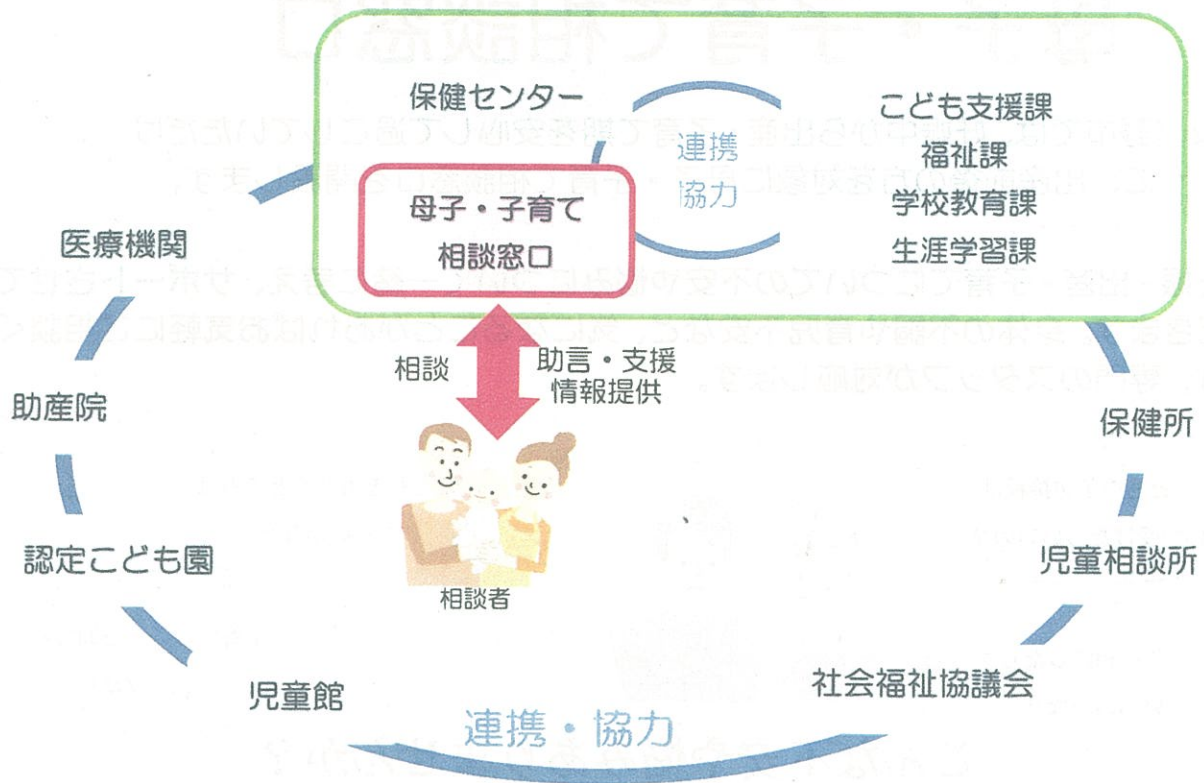
保健医療部健康推進課

(本庁舎1階12番窓口)

〒399-8281

安曇野市豊科6000番地

各関係機関と連携しながら支援していきます



安曇野市の子どもにかかわる支援体制

妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援をします

	妊娠期	出産	産後	育児
支援内容	両親学級 妊婦訪問			
	妊婦健診 妊婦歯科健診			
			訪問	乳幼児健診・健康相談・教室
				乳幼児健診後のフォロー健診・教室
	相談・支援など (妊娠・出産・子育てに関する事、家庭環境に関する事、発達に関する事など)			
	経済的支援 (福祉医療、児童手当などの助成・手当)			

安曇野

市民タイムス安曇野支社
〒399-8304安曇野市穂高柏原2684



TEL 0263-82-0001
FAX 0263-82-0010

総合子育て相談窓口 始動

市役所に 対面と電話で保健師対応



安曇野市は3日、市役所1階に「母子・子育て相談窓口」を新設した。妊娠、出産期や子育て中の女性の不安を軽減するのが狙いで、総合的な窓口として一本化し、相談しやすとした。健康推進課の12番窓口に開設し、専門スタッフの保健師を配置した。対面と電話により、無料で悩みや心配事に応じ、必要な情報を提供する。必要な場合は関係機関と連携し、継続的に女性を支える。
(浅井文人)

窓口で対応する保健師。松枯れ被害木を利用した木製看板が目印だ

穂高駅 6月から業務委託 「窓口」は今年19日終了

Rにお願いしてきた 託先の社員がおり、券が、聞き入れてもらえ 売機の操作が分からなくなかった」とする。直 ければ使い方を教える 当駅と業務委託駅では という。JR東日本長 対外的なイメージの落 野支社は「委託業者の 社員はJRで勤務経験

核家族化の進行によ

り、家事や育児を手伝 分らない人はまず、 ってくる家族が近く 相談窓口を利用してほ にいない母親も増えて しい」と話している。 いる。このため総合窓 窓口は予約は要らな 口の開設により、孤立 いる。平日の午前8時半 感や不安の解消も目指 午後5時15分に来庁 す。窓口では「育児に するか、電話をすれば 疲れて、いらいらpon」 いる。窓口とは別の場

「子供の予防接種は、い つ受けたらいいのか」 など、さまざまな相談 5時現在、来庁で4 人に、電話で1人が窓口 健康推進課(8026 進課の高橋正子課長は 3・71・2470)へ。

「どの課に行ったら 所には女性に保健師が 産した女性に保健師が 所による、初日は午後 対応したという。 問い合わせと相談は 健康推進課(8026 3・71・2470)へ。

市長日程

4日
宮澤安曇野市長 庁内 打ち合わせ(前8時30分、市役所) 北アルプス 南部地区巡対協議会(後5時30分、市内)

花ピーク

の場 高農 穂大 大王



一面に広がる満開のワサビの花